

診断フレームワーク柱廊玄関手動インストール およびログ ファイル

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[トラブルシューティング](#)

[解決策](#)

概要

この資料は Cisco Unified Contact Center Enterprise (UCCE) 診断フレームワーク柱廊玄関の壊れるインストールを回復するために使用されるプロシージャを記述したものです。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Cisco UCCE
- 診断フレームワーク柱廊玄関
- Microsoft Windows サービス、レジストリおよび CLI

使用するコンポーネント

この資料に記載されている情報は基づいた on Cisco UCCE バージョン 8.5 および 9.0 です。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

問題

新しいインストールかリフレッシュ アップグレードが、診断フレームワーク柱廊玄関ページ ロードしないかもしれません。さらに、Cisco Intelligent Contact Management (ICM) 診断フレームワーク サービスは services.msc に現れないかもしれません。

トラブルシューティング

柱廊玄関診断ページに達するために柱廊玄関が動作するローカル サーバーからこれらの URL にアクセスして下さい。環境のために <UCCE-server-IP> および <Instance-Name> ホルダーをそれに応じてアップデートするようにして下さい。

- <https://localhost:7890/icm-dp/rest/DiagnosticPortal/GetMenu>
- [https:// <UCCE-server-IP>:7890/icm-dp/rest/DiagnosticPortal/GetMenu](https://<UCCE-server-IP>:7890/icm-dp/rest/DiagnosticPortal/GetMenu)
- [https:// <UCCE-server-IP>:7890/icm-dp/rest/AnalysisManager/GetMenu?InstanceName=<Instance-Name>](https://<UCCE-server-IP>:7890/icm-dp/rest/AnalysisManager/GetMenu?InstanceName=<Instance-Name>)

上の URL がはたらかない場合、追加情報に関してはこれらのログ ファイルを参照して下さい:

- C:\icm\serviceability\diagnostics\logs
- C:\Temp\icminstall.log

これらのどちらかが参照インストーラ エラーを記録 する場合、InstallUtil ログを見ることができません。これを、移動 C にするため:> ウィンドウ > Microsoft.NET > フレームワーク > v2.0.50727 > InstallUtil、および開いた InstallUtil.INSTALLLOGFILE。

解決策

診断フレームワークを手動でインストールするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. コマンド プロンプトを開きます。
2. 次のコマンドを入力します。

```
C:\Windows\Microsoft.NET\Framework\v2.0.50727\InstallUtil.exe
```

```
C:\icm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.exe
```

診断フレームワークはこのイメージに示すように今、インストールされています:

```
Administrator: Command Prompt
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\Administrator>C:\Windows\Microsoft.NET\Framework\v2.0.50727\InstallUtil.exe C:\icm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.exe
Microsoft (R) .NET Framework Installation utility Version 2.0.50727.5420
Copyright (c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

Running a transacted installation.

Beginning the Install phase of the installation.
See the contents of the log file for the C:\icm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.exe assembly's program.
The file is located at C:\icm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.InstallLog.
Installing assembly 'C:\icm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.exe'.
Affected parameters are:
  logtoconsole =
  assemblypath = C:\icm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.exe
  logfile = C:\icm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.InstallLog
Installing service DiagFwSvc...
Service DiagFwSvc has been successfully installed.
Creating EventLog source DiagFwSvc in log Application...

The Install phase completed successfully, and the Commit phase is beginning.
See the contents of the log file for the C:\icm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.exe assembly's program.
The file is located at C:\icm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.InstallLog.
Committing assembly 'C:\icm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.exe'.
Affected parameters are:
  logtoconsole =
  assemblypath = C:\icm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.exe
  logfile = C:\icm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.InstallLog

The Commit phase completed successfully.

The transacted install has completed.

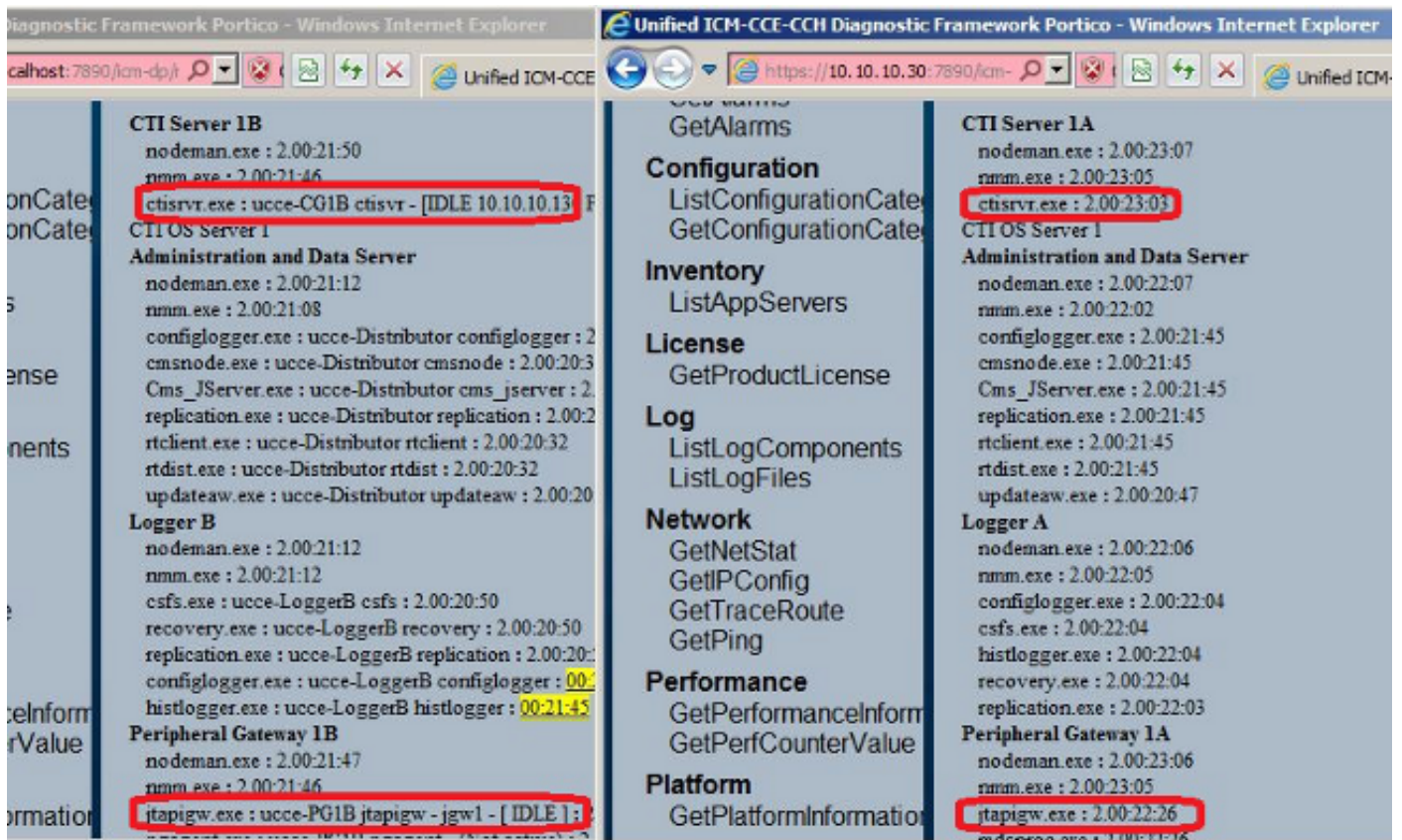
C:\Users\Administrator>_
```

既にマシンで存在するサービスがこのメッセージを得れば:

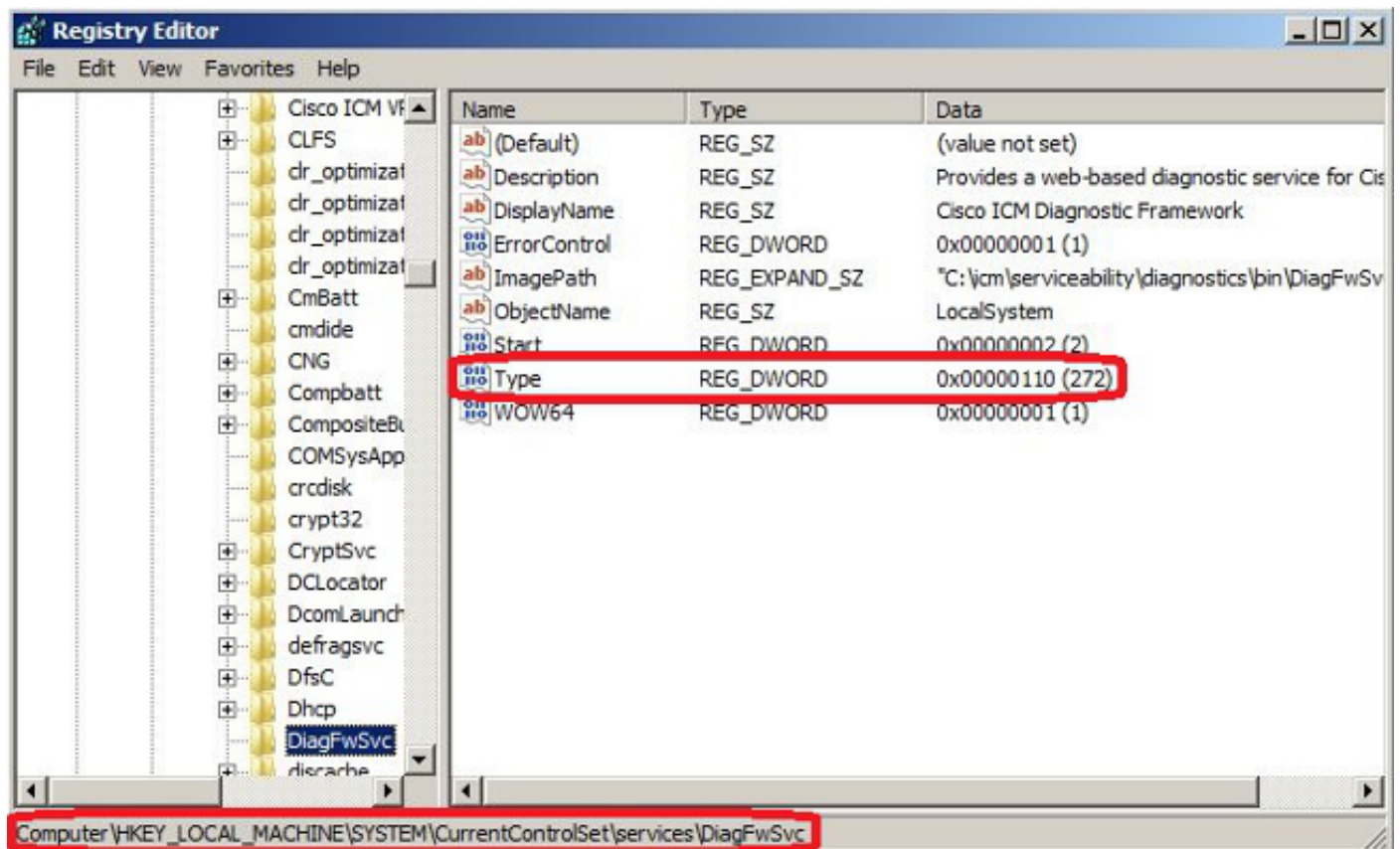
```
C:\Windows\Microsoft.NET\Framework\v2.0.50727\InstallUtil.exe
C:\icm\serviceability\diagnostics\bin\DiagFwSvc.exe
```

インストールは transactioned 方法で実行された; アセンブリの 1 つがインストールし損う場合他のすべてのアセンブリのインストールは延期されます。 uninstall not transactioned.

注: 診断フレームワーク柱廊玄関の手動インストールの後で、プロセスは (次のスクリーンショットの右下で) かもしれませんステータスを表示しないことを。 場合、情報はスクリーンショットの左下に正しくインストールされた表示する必要があります。



手動インストール後 ICM 診断柱廊玄関 ListProcesses および統一された CLI show processes コマンドが ICM プロセスのステータスを完了したら表示しなかった場合、に HKEY_LOCAL_MACHINE > システム > CurrentControlSet > Services > DiagFwSvc ナビゲートし、タイプが 0x0000110 に設定されることを確認して下さい (272)。



レジストリの変更が必要となる場合、変更を保存するためにサーバをリブートして下さい。再度ブートするの後で、UCCE プロセスのステータスはきちんと表示する必要があります。